

令和7年度 病虫害防除情報

令和7年8月1日

発表：福島県病虫害防除所

**リンゴ・モモ・ナシ園地でハダニ類の増加が確認されています。
高温・乾燥の予報のため、発生状況に応じ防除を徹底しましょう。**

- 1 対象作物：果樹類
- 2 病虫害：ハダニ類（本年2回目）
- 3 対象地域：全域
- 4 発生量：多い

5 発生状況等

- (1) 7月中下旬のリンゴ・モモ・ナシ園地での巡回調査におけるハダニ類（リンゴハダニ、ナミハダニ、クワオオハダニ（図1）、カンザワハダニ）発生ほ場割合は、平年より高い状況となっています（図2～図4）。1葉当たり雌成虫1頭以上の要防除水準（中発生以上）に達しているほ場が見られています。
- (2) 福島市の7月の日平均気温は、平年値と比較して3.9℃高くなりました（気象庁ホームページ ※次ページ参照）。天候予報（令和7年7月31日付け仙台管区气象台発表）によると、向こう1か月の気温は平年より高い見込みです。今後、高温乾燥を好むハダニ類に好適な条件が続くと推測されます。
- (3) 以上から、ハダニ類の発生は多くなることが予想されます。



図1 果樹のハダニ類
左：リンゴハダニ、中央：ナミハダニ、右：クワオオハダニ

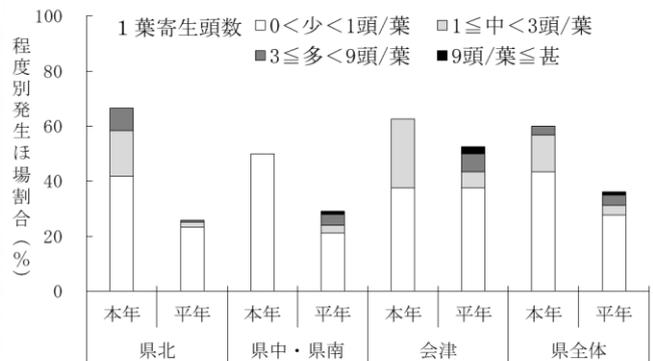


図2 リンゴにおけるハダニ類の寄生状況
(7月中下旬、県内30ほ場)
※ リンゴハダニ、ナミハダニ、カンザワハダニの合計

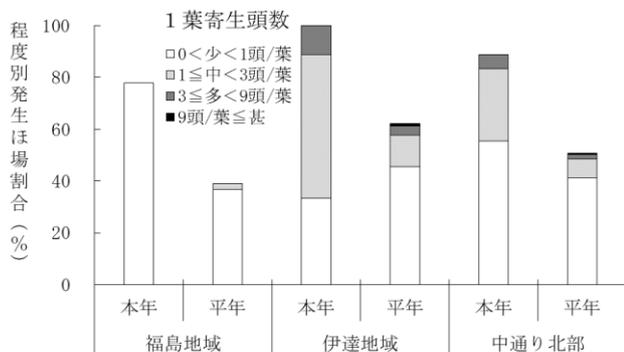


図3 モモにおけるハダニ類の寄生状況
(7月中下旬、県内19ほ場)
※ リンゴハダニ、ナミハダニ、カンザワハダニ、クワオオハダニの合計

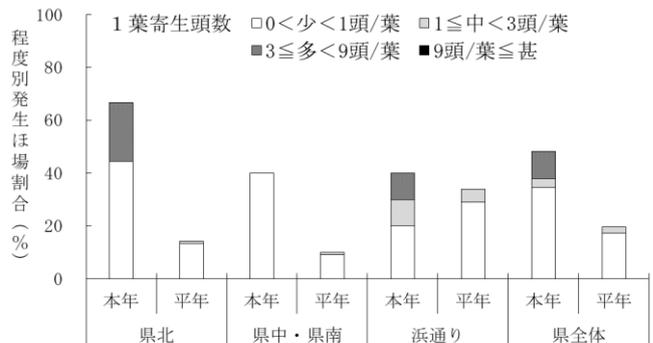


図4 ナシにおけるハダニ類の寄生状況
(7月中下旬、県内29ほ場)
※ リンゴハダニ、ナミハダニ、カンザワハダニ、クワオオハダニの合計

6 防除対策

- (1) 高温・乾燥が予報されており、ハダニ類に好適な条件が続きます。急激に増加する可能性があるため、防除適期を逃さないように注意しましょう。
- (2) ハダニ類が要防除水準（1葉当たり雌成虫1頭以上）に達していたら、早急に殺ダニ剤を散布しましょう。ハダニ類は、発生が多くなると防除が困難となります。ハダニ類による葉のかすれや葉焼け症状（図5）などを参考に、ほ場の葉をよく観察しましょう。
- (3) ハダニ類は、薬液のかかりにくい枝の混み合ったところなどにも寄生していますので、不要な徒長枝は早めに剪除するとともに、薬剤が葉裏や新梢にかかるように、十分な薬量を丁寧に散布しましょう。
- (4) 使用する薬剤は、県の防除指針や地域の防除情報等を参考に薬剤の使用濃度、収穫前日数などの農薬使用基準を遵守し、薬剤を散布してください。
- (5) 薬剤抵抗性の発達を抑えるため、系統の異なる薬剤のローテーション散布を行いましょう。
- (6) 他害虫の防除のために合成ピレスロイド剤（IRACコード：3A）やネオニコチノイド系（IRACコード：4A）の殺虫剤を連用して散布した後は、ハダニ類の天敵が減少しやすいため、ハダニ類の急増に注意しましょう。



図5 果樹のハダニ類によるリンゴのかすれ症状（左）およびナシの葉焼け症状（右）

※ 出典：気象庁ホームページ

https://www.data.jma.go.jp/stats/etrn/view/monthly_s3.php?prec_no=36&block_no=47595&year=&month=&day=&elm=monthly&view=a1

- ◆福島県では6月10日から9月10日まで令和7年度農薬危害防止運動を実施中です。
- ◆農薬を使用する際は、ラベルをよく読んで正しく使用しましょう。

●本情報の内容に関する質問は、福島県農業総合センター安全農業推進部発生予察課（病虫害防除所）まで御連絡ください。

TEL 024-958-1709 FAX 024-958-1727